

# 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたい

## 1 地産地消により農業の活性化を目指す

地産地消による農業の活性化を目指し、担い手農家の育成や生きがい農業を推進し、町の特産品となる農産物・加工品の開発・普及を進め、農産物直売施設の充実や学校給食等での利用促進を図るとともに、農地の有効活用などを促進します。

### 施策の体系

(1) 担い手及び新規就農者の育成	(2) 生きがい農業の実践
(3) 特産品の開発	(4) 地産地消の推進

### 10年後の姿

- ・担い手による効率的な農業が営まれ、農産物直売所には地元の農作物や特産品があふれ、学校給食にも町内産の農産物が多く使われるなど、町民が日常的に地元の食材を利用しています。
- ・生きがいとしてのレクリエーション農業が町内各所で行われています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
地産地消の推進に満足している町民の割合	%	11.4	17.0	22.0
農業の活性化対策に満足している町民の割合	%	7.5	13.0	18.0
地元の農産物を購入したいと思っている町民の割合	%	52.7	58.0	63.0
認定農業者数	人	6	8	10
農学校受講者数（1年間）	人	17	20	25

### 協働によるまちづくりの考え方

農学校を運営することにより、町民が農業と関わる機会を設け、担い手の育成や生きがい農業の展開を進めます。また、町民、地元事業者、各種団体、行政等が協力しながら、特産品やその加工品の開発・PRを進めます。

## 2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める

地域に根ざした産業の振興を目指し、既存産業の活性化を図るとともに中小企業における技術革新、新たな雇用を創出する新たな産業の誘致・育成、コミュニティビジネス<sup>注1</sup>を担うNPO等の育成、地元の購買力を高める商業施設の立地促進などを進めます。

### 施策の体系

(1) 商業施設の立地促進	(2) 町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成
(3) 特産品の商品化への支援	(4) 新たな産業を担うNPO等の育成

### 10年後の姿

- ・商業施設が集積した中心核が形成され、町民でにぎわっています。
- ・既存産業の育成及び新たな産業拠点の形成により新たな雇用が創出され、定住人口が増加しています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
働く場や機会に満足している町民の割合	%	5.6	11.0	16.0
商工業の活性化対策に満足している町民の割合	%	5.8	11.0	16.0
新しく誘致できた企業数	社	0	3	6

### 協働によるまちづくりの考え方

新たな産業拠点の形成に向けて、計画段階から説明会を開催するなど、商工会や農業団体を含む地域住民の理解を得ながら進めます。

町の資源を見つめ直し、新たな特産品の開発を協働で行います。

町の資源を活用し、農業・商業・工業が連携した新しい地域循環型産業や新たな産業の誘致・育成、既存産業が活性化するまちを目指します。また、快適で便利な生活の基盤や環境を整え、将来にわたり住み続けたいまちを目指します。

### 3 魅力ある市街地を整備する

いつまでも住み続けたい魅力ある市街地の形成を目指し、計画的な土地利用の誘導と都市基盤整備による市街地の整備、集落地などの住環境の改善、良質な住宅・宅地の整備などを進めます。

#### 施策の体系

(1) 秩序あるまちの形成	(2) 中心核 <sup>注2</sup> の形成
(3) 新たな産業拠点の形成	(4) 墓地・火葬場の整備

#### 10年後の姿

- ・町の郊外では豊かな自然に恵まれ、町の中心部では、町民が憩い、交流し、にぎわいがあふれています。
- ・都市基盤の整備が計画的に進められ、町民が安心して住み続けられるまちになっています。

#### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
開発による住宅地の整備に満足している町民の割合	%	12.6	18.0	23.0
東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0
住居系市街化区域面積	ha	505	545	555

#### 協働によるまちづくりの考え方

土地利用に関する計画は、町民参画等により町民の意見を踏まえて策定します。

### 4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる

緑豊かなうるおいのあるまちを目指し、良好な緑や里山の保全、公園・緑地の整備と維持管理、公共施設や民間施設における緑化、水と緑のネットワークづくりなどを進めます。

#### 施策の体系

(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理	(2) 緑化の推進
(3) 水と緑のネットワーク構想の推進	

#### 10年後の姿

- ・子どもから高齢者まで誰もが遊び、集える公園が身近な場所にあり、町民に親しまれ、地域と行政が協働しながら公園の手入れを行っています。また、安全で安心して利用することができ、町民に喜ばれる魅力あふれる公園となっています。
- ・水と緑のネットワークづくりを目指し、東郷町グリーンベルト構想の実現に向けて、整備を進めています。

#### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
公園や緑地の整備に満足している町民の割合	%	31.6	37.0	42.0
近くの公園や広場などを利用している町民の割合	%	21.7	27.0	32.0
公園愛護会 <sup>注3</sup> 登録団体数	団体	制度開始	14	28

#### 協働によるまちづくりの考え方

町民に愛され、利用される公園として整備していくために、計画段階から地域住民や NPO、地域団体が参画するとともに、公園の維持管理についても協働で進めます。

## 5 美しい街並み景観のあるまちをつくる

魅力ある美しい街並み景観の形成を目指し、主要な公共施設や町の顔となる拠点地区の景観整備、地域住民による住宅地の街並み形成、歴史的環境や樹木などの保存、農地の景観保全などを進めます。

### 施策の体系

(1) 住宅地の街並み形成 (3) 良好な景観の維持	(2) 農地の景観保全
-------------------------------	-------------

### 10年後の姿

- ・市街地にはゆとりとうるおいのある住宅地が広がり、古くからの集落地では、豊かな樹林に囲まれた社寺や路地など、昔からのたたずまいを残す伝統的な風景が保全され、郊外には、青々とした農地が広がっています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
町民農園開設箇所数（個人開設）	箇所	2	4	6

### 協働によるまちづくりの考え方

地区の要望等を確認しながら、地域の特性に応じ、美しい景観を保全・創出します。  
地域の農業者等と協力して耕作放棄地の解消を目指します。

## 6 安心して通行できる道路網を整備する

地域内における自動車交通の円滑化と歩行者の安全な通行が確保された道路網の確立を目指し、未整備幹線道路の整備、歩道や歩行者・自転車道の整備、安心して歩行できる道路の整備などを進めます。

### 施策の体系

(1) 都市計画道路の整備 (3) 暮らしやすい道路の形成	(2) 歩行者にやさしい道路整備 (4) 幹線道路の整備
----------------------------------	---------------------------------

### 10年後の姿

- ・都市計画道路が整備され、町内外のアクセスが容易になり、生活道路には段差のない歩行者にやさしい歩道が整備され、町民が快適な日常生活を送れるまちになっています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
道路の整備に満足している町民の割合	%	23.5	29.0	34.0
歩車道境界の段差解消箇所数	箇所	4	28	48
通学路総点検実施小学校区数	校区	2	6	6

### 協働によるまちづくりの考え方

円滑な道路整備事業の推進に向け、利害関係者等と合意形成を図ります。  
また、道路の点検活動に町民、学校、関係機関が積極的に参加できるようにします。



## 7 公共交通の利便性を高める

誰もが利用しやすい公共交通の確立を目指し、路線バスの充実、周辺市と連携した巡回バス（じゅんかい君）の充実と利用促進、過度に自家用車に頼らないためのエコ通勤の促進などを進めます。

### 施策の体系

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| (1) 巡回バスの充実と公共交通の利用促進 | (2) 近隣市との連携、広域的な交通手段の充実 |
|-----------------------|-------------------------|

### 10年後の姿

- ・路線バスが充実し、また、周辺市と連携した巡回バスの充実により、公共交通が利用しやすいまちになっています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
バスなどの公共交通機関の整備に満足している市民の割合	%	15.8	21.6	26.0
巡回バス利用人数	人	127,688	140,000	154,000

### 協働によるまちづくりの考え方

市民と行政、関係機関が、情報、課題、計画、目標等を共有し、協力して、地域公共交通の活性化・広域化について総合的に地域公共交通総合連携計画<sup>注4</sup>を策定し、実施します。

## 8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める

安定した水道の供給と下水の的確な処理を目指し、愛知中部水道企業団等との連携により上水道の安定確保とおいしく安全な水の提供を進めるとともに、下水道事業の効率化のもとで境川流域下水道事業などを進めます。

### 施策の体系

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| (1) 水洗化の推進   | (2) 市街化区域の下水道整備 |
| (3) 下水道の維持管理 | (4) 上水道の安定供給    |

### 10年後の姿

- ・市民の理解のもと、下水道への接続率が向上し、適切な処理が行われています。
- ・市街化区域の下水道整備も完了し、衛生的で快適な暮らしを体感できるまちとなっています。
- ・アクア・シンフォニー計画<sup>注5</sup>を推進することにより上水道の安定供給が可能となっています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
下水道の整備に満足している市民の割合	%	38.8	44.0	49.0
水洗化率 <sup>注6</sup>	%	84.3	85.0	90.0
公共下水道供用面積（市街化区域）	ha	440.4	501.3	516.0

### 協働によるまちづくりの考え方

行政側から積極的なPRを行うことにより、市民に上下水道への関心を持ってもらいます。下水道においては水洗化を進め、生活環境の向上を目指します。上水道においては、日常生活に欠かすことのできない清浄で豊富低廉な水の安定供給を将来にわたって確保することが重要な使命です。この使命を達成するため、協働により「水源から蛇口までみんなに気持ちいい水道」づくりを進めます。

### 用語解説

注1 コミュニティビジネス：福祉、環境、農業、まちづくり等の地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取組み。

注2 中心核：市民が憩い、交流し、にぎわいあふれる町の中心部

注3 公園愛護会：町が管理する公園等の美化及び施設の維持・管理などの愛護活動を実施する団体（登録制）。

注4 地域公共交通総合連携計画：地域公共交通の活性化・再生を総合かつ一体的に推進するための計画。

注5 アクア・シンフォニー計画：愛知中部水道企業団が、給水区域3市2町の水道事業の将来ビジョンを達成するため、その目標及び施策を体系化し、推進計画を明らかにすることをねらいとして策定したもの。

注6 水洗化率：下水道の供用が始まっている地区内で下水道に接続している人口の割合を表すもの。